

統一論題報告 「会計制度変革期の会計学研究の課題と展望」 会場 21号館 4F 423 教室	
14:20-14:50	(3) 「企業統治と会計倫理の視点-監査人の選任・解任と報酬の決定権を例として-」 原田保秀 (四天王寺大学)
14:50-15:20	(4) 「原則主義アプローチの採用からみた今後の会計教育研究の展望」 菅原 智 (広島修道大学)
15:20-16:00	コーヒーブレイク
統一論題討論会 「会計制度変革期の会計学研究の課題と展望」 会場 21号館 4F 423 教室	
16:00-17:40	座 長 井上達男 (関西学院大学) パネリスト 島 吉伸 (近畿大学) 音川和久 (神戸大学) 原田保秀 (四天王寺大学) 菅原 智 (広島修道大学)
懇親会 (近畿大学英語村 E ³ [e-cube])	
18:00-20:00	
10:30-17:00	受付 21号館 4F フロア
10:30-17:00	会員控室 21号館 4F 424 教室

参加登録手続き等のご案内

- (1) 部会参加費等は以下の通りとなっております。
- ①参加費 会員 3,000 円、非会員 5,000 円
②懇親会費 5,000 円(当日申し込み不可)
- (2) ご参加の方は同封の「払込取扱票」で **12月5日(金)** までにお振り込みください。
- 口座番号 00900-3-234973
口座名称 日本会計研究学会第64回関西部会準備委員会
- ※ 部会および懇親会へのご参加は、払込みの金額によって確認させていただきます。
- ※ 部会参加費および懇親会費の領収書につきましては、「振替払込請求書兼受領証」にて代えさせていただきます。大会当日は、念のため「振替払込請求書兼受領証」(またはその写し)をご持参ください。なお、お振り込みいただいた金額につきましては払い戻しをいたしませんので、ご了承ください。
- (3) 12月13日(土)の大会当日の昼食につきましては、本館地下1階の食堂(KURE、キュア)をご利用ください。また、東大阪キャンパス西門近くには、多くの食事処がありますので、あわせてご利用ください。
- (4) 近畿大学へのアクセス

<http://www.kindai.ac.jp/about-kindai/campus-guide/access.html>

日本会計研究学会

第64回関西部会

平成26年(2014年)

12月13日(土)

近畿大学東大阪キャンパス

日本会計研究学会

第64回関西部会準備委員会

顧問 山口忠昭

委員長 浦崎直浩

委員 日野和則 川原尚子

和田博志 島 吉伸

安酸建二 高原利栄子

戸田統久 姚 小佳

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1

近畿大学経営学部 浦崎直浩研究室内

Tel 06-6721-2332 内線 3657

直通 06-4307-3265

urasaki@gbus.kindai.ac.jp

ご挨拶

会員各位

会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、近畿大学におきまして、日本会計研究学会第 64 回関西西部会を開催させていただくことになりました。

本部会の統一論題は、「会計制度変革期の会計学研究の課題と展望」とさせていただきます。企業の経営環境が変化する中で会計学研究の課題と展望について、マネジメント、マーケット、ガバナンス、インテグリティ（原則主義、会計教育）の 4 つの観点から論じようとするものであります。

経済環境の変化は、工業化社会から脱工業社会への発展として跡づけることができます。それは、モノ作りの経済からマネー経済へ、そしてナレッジ経済（知識基盤社会）への変遷と表現することもできます。

金融の自由化・国際化を背景としたマネー経済では、デリバティブ会計が制度化され、資産負債アプローチに基づく会計思想（基準）が一定の範囲で浸透いたしました。さらに、インターネットの普及によるナレッジ経済では、企業の知財や知的資産が企業価値を決するようになり、知的資産会計や無形資産会計が華々しく論じられました。

さらに、また、経済の複雑化や不確実性の増大は、

財務情報のみでの企業評価が困難となり、非財務情報やリスク情報、さらにはそれ以外の CSR、環境報告、持続可能性といったベクトルの向きが違うレポートニングを統合した外部報告の研究が台頭しています。

このような状況の中で、それぞれの分野の専門家が、これからの会計学研究の方向やアプローチ（学説研究、実証研究、ケース研究など）について自由な発想で論じることを統一論題の目的としております。

多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

関西西部会準備委員長
浦崎直浩

大会プログラム

12月13日（土）	
10:00-12:00	理事会 （21号館 8F 会議室）
自由論題報告 会場 21号館 4F 423教室	
11:00-11:35	司会 本田良巳(大阪経済大学) (1) 「非金融資産の認識中止について～収益認識とリースにおける『契約・資産構成要素アプローチ』の論理と実務課題～」 藤田敬司(立命館アジア太平洋大学)
11:35-12:10	(2) 「ドイツにおけるリスク情報開示－開示事例を中心として－」 付 馨(鳥取環境大学) ※報告 25分 質疑 10分
統一論題報告 「会計制度変革期の会計学研究の課題と展望」 会場 21号館 4F 423教室	
13:10-13:40	司会 井上達男(関西学院大学) (1) 「中小企業におけるインタンジブルズの管理－知的資産経営報告書の活用事例－」 島 吉伸(近畿大学)
13:40-14:10	(2) 「ビッグデータを用いた実証的会計学研究の拡張可能性」 音川和久(神戸大学)
休憩	